



夏休み、どの本よもうかな？ (5、6年生)

タイムトンネルを見つけた夏

よこたあきこ ほんだりょう あかねしょぼう (J 913/ヨ)

「近くの山に不思議な場所がある」というウワサを聞いて、いとこのカズヤと探検に出かけたヒロ。山の中の目立たないところに、斜面に沿ってできた小さな入口を見つけました。それは、戦争中に作られた子どもたちのための防空壕のあとでした。



シャーロットのおくりもの

E. B. ホワイト/作 ガース・ウイリアムズ/絵 さくまゆみこ/訳 あすなるしょぼう (J 933/ホ)

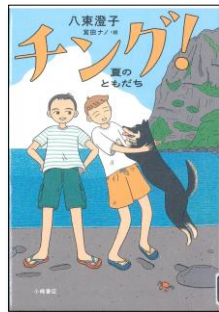
ほかの子よりも小さく生まれた子ブタのウィルバーは、少女ファーンに命を救われ、農場で静かにくらしていました。ある日、ウィルバーは家の戸口に巣をはったクモのシャーロットと友だちになりました。



チング！ 夏のともだち

やつかすみこ さく みやた こみねしよてん (J 913/ヤ)

小学5年生の幹太は、夏休みにチチ(父)と韓国へ旅することになりました。世界遺産の山があるチェジュ島をめざし、韓国を縦断した幹太は、海辺でソジンと出会います。やがて、チング(ともだち)になった2人は、かけがえのない夏を過ごします。



未来の給食、なに食べる？

おはなしサイエンス 未来のたべもの

くすのきせいしろう しもひら こうだんしや 楠木誠一郎/作 下平けーすけ/絵 講談社 (J 588/ク)

理科部の5年生3人に出された宿題は、食料不足に備え、「新しい食材を使った未来の給食」を考えること。3人は昆虫食やミドリムシ、代替食品の利用を調べましたが…。3人はどんな「未来の給食」を考えたいのでしょうか？



もしも明日、ぼくの足がなくなったら

ふなざきすみ ガ ッ ケ ン (J 369/フ)

病気や事故で、突然、足を失ってしまったら…。今までと全く違う生活を送らなければならなくなった5人の主人公に密着します。義足の機能や、バリアフリーについて考えるきっかけにもなる本です。



人間は料理をする生きものだ

もりえだたかし ふくいんかんしよてん (J 383/モ)

動物たちは、強い歯や消化機能を使い、食べものをそのまま、体に取り入れることができます。人間は、道具を使って、切る、焼く、蒸すなど、おいしく食べるための工夫をしてきました。



かげふみ

くつきしやう あみなか みつむらとしよしゅつぱん (J 913/ク)

夏休みを広島のお祖母の家ですごす拓海は、児童館の図書室で、「影の話」を探す少女に出会いました。雨の日だけに現れ、いつのまにか消える少女が気になる拓海は、原爆で、影だけを残して亡くなった人たちのことを知りました。



花をうめる

にいみなんきち すぎうらはんも こみねしよてん (J 913/ニ)

一人が小さな穴をほり、つんだ花を入れて硝子でふたをして砂でかくす。かくしおわったら、ほかの子が土の中の花をさがしてあてる遊びがあります。

あるとき、「私」は、「ツル」という少女がかくした花を見つけられませんでした。

